

1年 道徳学習指導案

1. 主題構成表

主題名 ともだちと なかよく

資料名 二わのことり

出典：(文溪堂)

■内容項目

低B-(9)友情、信頼
(低) 友達と仲よくし、助け合うこと。
(中) 友達と互いに理解し、信頼し、助け合うこと。

■価値の分析

- ・「ともだちとなかよく」ということは、自分のことだけでなく相手のことも考えて行動することや、互いに理解し、認め、助け合うことである。友達は家族以外で特に深い関わりをもつ存在であり、友達関係は共に学んだり遊んだりすることを通して、互いに影響し合って構築されるものである。
- ・低学年では、幼児期の自己中心性から十分に脱しておらず、友達の立場を理解したり自分と異なる考えを受け入れたりすることが難しいことも少なくない。しかし、学級での生活を共にしながら一緒に勉強したり、仲よく遊んだり、困っている友達のことを心配し助け合ったりする経験を積み重ねることで、友達のよさをより強く感じるようになる。
- ・この時期の児童は、特に身近にいる友達と一緒に、仲よく活動することのよさや楽しさ、助け合うことの大切さを実感できるようにすることが大切である。そこで、相手の気持ちを考えて行動することが互いの喜びになるということに気づき、友達とより仲よくしていこうとする心情を育てたい。

■内容項目から見た児童の実態(意識)

- ・国語の音読会では、グループで役割分担を話し合い、仲よく声をかけ合って練習することができる。
- ・図工のとき、材料となる色紙を分けたり譲り合ったりするなど、仲間と助け合う姿が見られる。
- ・学級遊びの鬼ごっこでは、自分の好き嫌いで友達を選び、特定の子だけを追いかけ楽しんでいる姿が見られる。
- ・転がしドッチの遊びでは、なかなかボールがとれない友達の気持ちを考えないで、ボールをたくさんとれた自分だけが何度もボールを転がして楽しんでいる姿が見られる。

■要因

- ・自分の思いだけで行動しており、相手が嫌な気持ちになったり困ったりしているところまで考えが及んでいない。
- ・相手が喜んでくれたときのうれしさを感じる経験が少ない。

■資料の分析

- ・本資料では、みそさざいが、やまがらから誕生日の招待を受けながらも、他の小鳥たちと一緒にうぐいすの家へ行ってしまふ。しかし、さびしく待っているだろうやまがらのことを思い、うぐいすの家を抜け出してやまがらの家へ行くと、みそさざいが来てとても喜んでるやまがらの姿があった。その姿を見て、みそさざいもうれしい気持ちになるという内容である。
- ・みそさざいはやまがらからは誕生日会に、うぐいすからは音楽会の練習に、同時に招待され迷うが、遠くて寂しいところのやまがらの家より、近くて明るい場所であり、大勢が集まるうぐいすの家に魅力を感じるという、みそさざいの気持ちに共感することができる。
- ・みそさざいは、うぐいすの家で過ごすも、独りぼっちでいるやまがらのことが気になってくる。いたたまれなくなり、やまがらの家に駆けつけると、喜んだやまがらの姿を見て、みそさざいもうれしい気持ちになったことから、相手の気持ちを考えて行動することが互いの喜びになるということに気付くのである。

■ねらい

やまがらの喜ぶ顔を見たときのみそさざいの気持ちを考えることを通して、相手の気持ちを考えて行動することが互いの喜びになるということに気づき、友達とより仲よくしていこうとする心情を育てる。

■他の教育活動との関連

■事前 <運動会>

- ・学年の団体種目において、ペアの二人が友達の気持ちを考えて、仲よく助け合うことができるように指導、援助する。
- ・取組の達成に向けて、友達の呼びかけに応えることができた姿を、十分に価値付ける。

■本時

「二わのことり」

■事後 <学級遊び・帰りの会>

- ・相手のことを考えながら仲よく助け合っして行動できていた姿を認め、価値付ける。
- ・よいこと見つけのときに、よかった姿だけでなく行動の裏にある気持ちを話し合うことで、互いにうれしい気持ちになっていることを実感させる。

■「私たちの道徳」の活用(授業前・授業中・授業後)

(活用の仕方) p 76の友達と仲よくして楽しかったことや、うれしかったことを事前に記入し、展開後段で相手の気持ちを考えて行動している姿を取り上げる。

2. 学習指導過程

	基本発問と予想される児童の反応	指導・援助
導入	<p>◇友達に優しくされたことについて話し合う。</p> <p>○友達に優しくされたことはありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休み時間に「いっしょに遊ぼう。」と声をかけられてうれしかった。 ・落とし物を一緒に探してくれて助かった。 <p>◇資料に登場する小鳥たちと誕生日会について知る。</p> <p>○みそさざいややまがらといった小鳥を知っていますか。</p> <p>○みんなにとって誕生日はどんな日ですか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な友達に優しくされたことを思い起こさせ、価値への方向付けをする。 ・児童になじみがないため、絵や写真を提示することで小鳥たちへの興味をもたせる。 ・本時はみんなからお祝いをしてもらって楽しい誕生日会の話であることも伝え、資料への関心を高める。
展開前段	<p>◇資料「二わのことり」を聞いて話し合う。</p> <p>○みそさざいさんは、どうして迷いながらもうぐいすさんの家に行ったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やまがらさんの家は、遠いから行きたくないな。 ・うぐいすさんの家は、近くてきれいだからいいな。 ・みんながうぐいすさんの家に行くなら、自分も行こう。 ・一人で行くのは嫌だし、みんなといっしょの方が楽しい。 <p>○みそさざいさんは、うぐいすさんの家にいるとき、どうして楽しくなかったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やまがらさんは、みんなが来るのを待っているかな。 ・やっぱり、やまがらさんの家に行かなくて悪かったな。 ・やまがらさんの誕生日を、お祝いしてあげたいな。 ・みんなこっちに来てしまって、やまがらさんは独りぼっちでかわいそうだな。 <p>◎とても喜んでるやまがらさんを見て、みそさざいさんはどんな気持ちだったでしょう。</p> <p><みそさざい></p> <ul style="list-style-type: none"> ・もっと早く来ればよかった。遅くなって本当にごめんね。 ・さみしかったよね。一人にしてごめんね。 ・お誕生日おめでとう。友達だからお祝いしたかったんだ。 <p><やまがら></p> <ul style="list-style-type: none"> ・遅いから心配したよ。 ・来てくれてありがとう。涙が出るくらいうれしいよ。 ・音楽会の練習があったのに、本当にありがとう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>深めの発問</p> <p>○みそさざいさんに来てもらえて、やまがらさんはどんな顔をしていますか。それを見て、みそさざいさんはどんな気持ちになっていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やまがらさんが喜んでくれて、ぼくもうれしいな。 ・やまがらさんの笑顔が見られて、本当に来てよかったな。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ペープサートを使って、登場人物の動きを分かりやすく見せながら範読する。 ・うぐいすの家とやまがらの家の対照的な雰囲気、家の絵を提示することで気付かせる。 ・「やまがらさんの誕生会に、本当に行かなくていいの。」と問い返すことで、相手の気持ちを考えずに、自分にとって都合のよい方を選んだ気持ちに共感させる。 ・誕生日会を一人で過ごすやまがらのことを考え始め、抜け出そうと思ったみそさざいの気持ちに共感させる。 ・教師がやまがらの役、児童がみそさざいの役となって役割演技をさせることで、やまがらの喜びが自分の喜びにつながることに気付くようにする。 ・役割演技の様子を見ている児童に深めの発問をすることで、ねらいとする道徳的価値の理解をさらに深め、確かなものにして、自己の生き方を振り返る活動につなげる。
展開後段	<p>◇自分の生活を振り返る。</p> <p>○友達の気持ちを考えて、お互いにうれしい気持ちになったことはありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「いっしょに遊ぼう。」と誘ってあげて、楽しく遊べたよ。友達が楽しそうで、ぼくもうれしかったよ。 ・転がしドッチのとき、まだ投げていない子にボールを渡してあげたよ。みんなで楽しく遊べて、わたしもうれしかったよ。 ・困っている子に、何をしたらいいのか教えてあげたよ。笑顔で一緒に活動できて、ぼくもうれしかったよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「わたしたちの道徳」(p 76)の記入を取り上げ、「どうして、そうしようと思ったの。」「そのときどんな気持ちだったの。」と、問い返すことで、自己の生き方についての考えを深める。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>〈変容の見届け〉</p> <p>自分の生活を振り返り、相手の気持ちを考えて行動することが互いの喜びになるということ気付き、より仲よくしていこうと思いをもっている。</p> </div>
終末	<p>◇児童の姿を紹介する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常観察より、相手の気持ちを考えて行動し、みんなで仲よく活動している様子を紹介する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の気持ちを考えて行動したことで相手が喜び、自分もうれしくなった話を紹介し、児童の実践意欲を高める。

